

4. 履修登録について

全学共通科目を履修する場合は、一部の集中講義を除いて KULASIS での履修登録が必要です。履修登録をしていない授業科目は、試験を受けたりレポートを提出したりしても単位が認定されません。なお、履修登録までに予備登録・先着順申込（以下、「事前申込」）が必要な科目が相当数あり、事前申込の手続きを怠ると希望するそれらの科目は履修することができません。また、クラス指定科目、学部科目などの曜時限の重複に注意して手続きしてください。

大学コンソーシアム京都単位互換科目については、4月上旬に申込期間を設けますので掲示に注意してください。（p.85 参照、学部生のみ申請可）

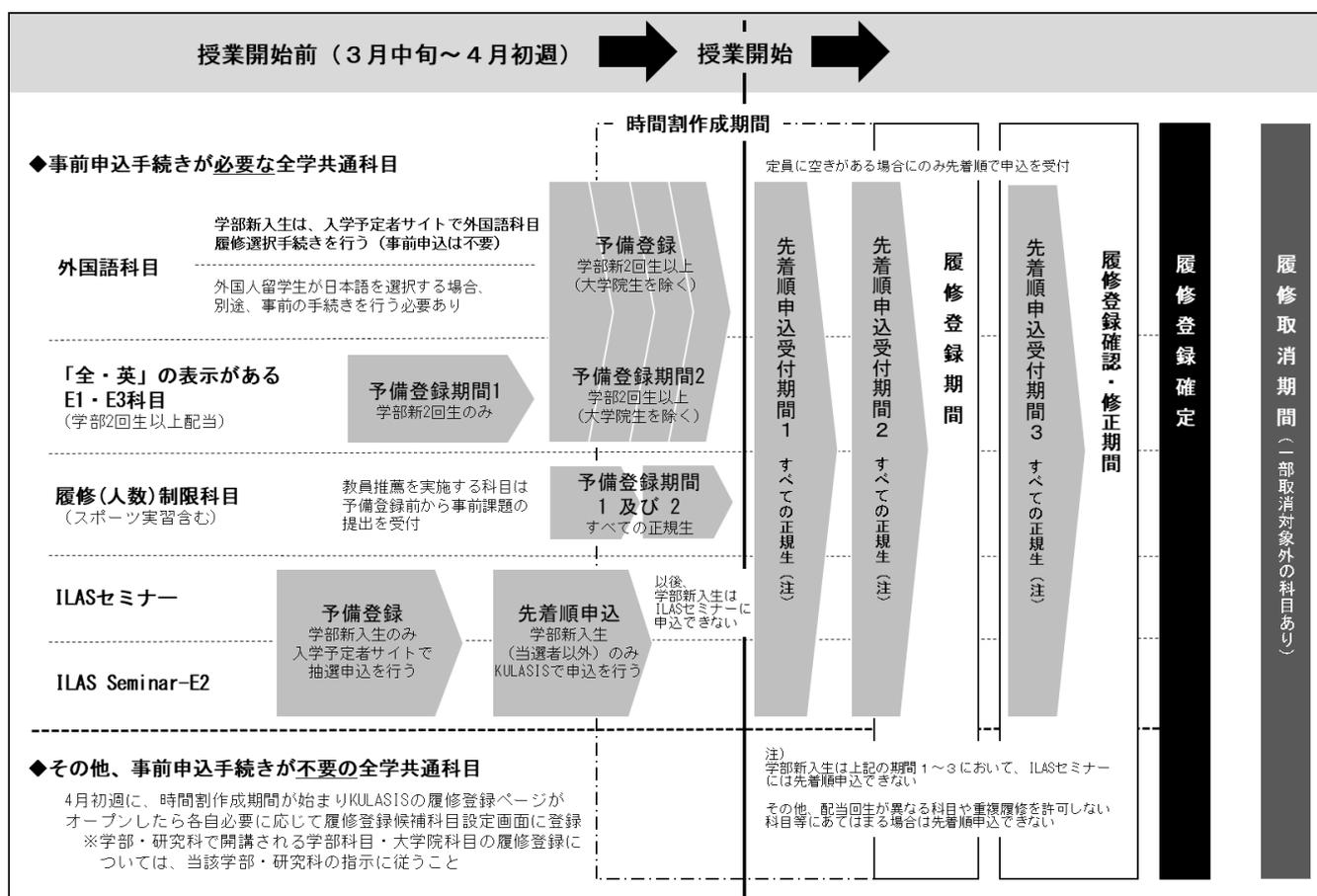
集中講義のうち、ILAS セミナー（学部1回生が前期集中科目に申し込む場合のみ）、外国語科目群（スペイン語 IA・IB（会話）は除く）、キャリア形成科目群国際コミュニケーション分野、大学院共通科目群（知的財産、アントレプレナーシップ入門、および大学院生のための英語プレゼンテーションは除く）ならびに大学院横断教育科目群の集中講義は KULASIS での履修登録が必要です。

まず、全学共通科目の履修登録に関するスケジュール（イメージ図）を以下に示します。事前申込手続きが必要な全学共通科目に関する申込方法等の詳細は後述します。

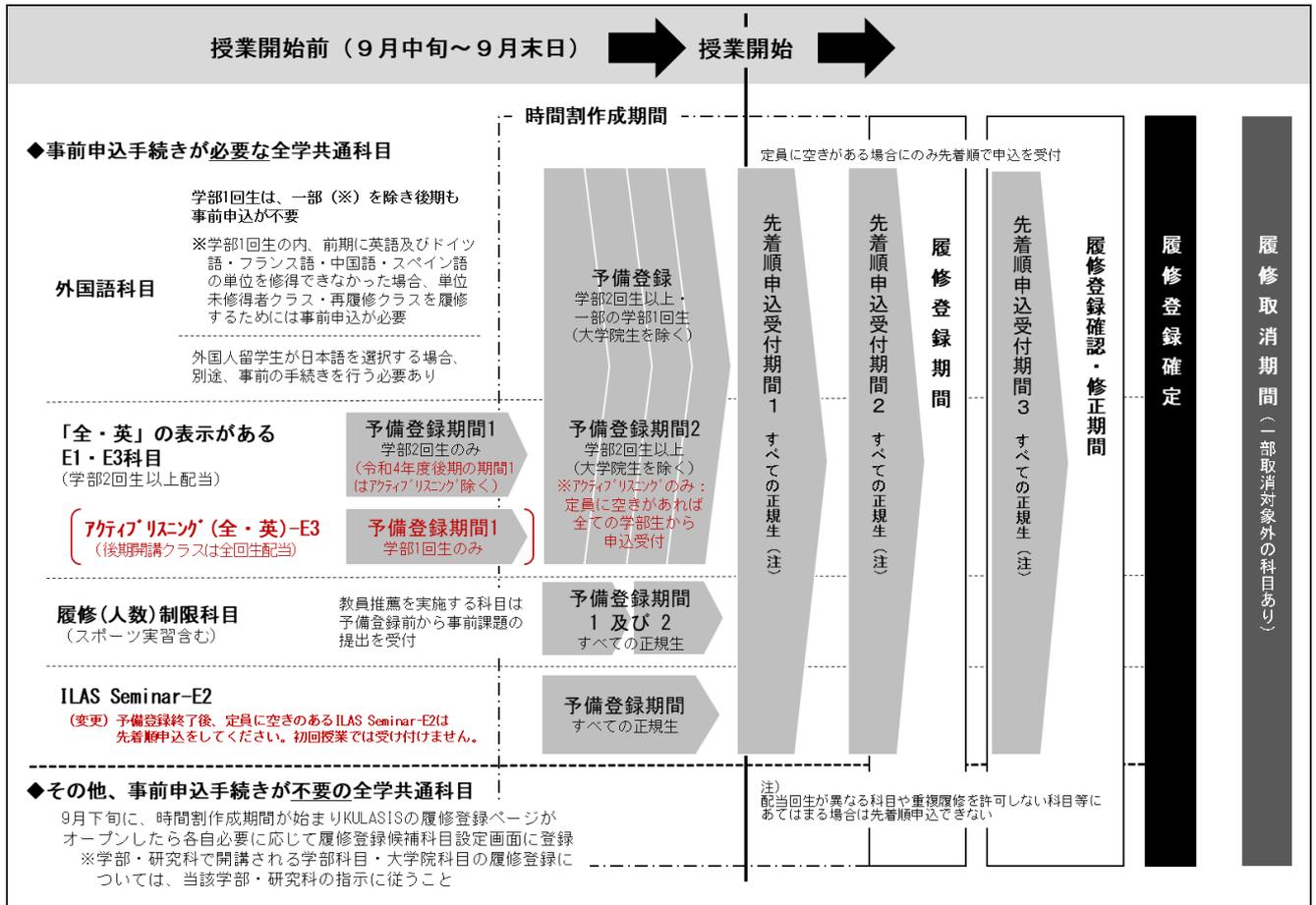
本手引きでは、事前申込手続きの開始日時・終了日時をはじめ、履修登録に関する具体的な日程は記載していません。具体的な日程は、前期・後期とも、KULASIS のお知らせ（教務・厚生情報）および掲示等により事前に周知しますので、各自で必ず確認してください。

なお、各種手続きの締切時間を厳守してください。締切時間以降は手続きできません。余裕をもって手続きをしてください。

【前期】全学共通科目の履修登録スケジュール（イメージ図）



※ILAS Seminar-E2（学部新入生による予備登録・先着順申込の終了後）は、KULASIS の履修登録機能を利用できない特別聴講学生（交換留学生）の履修に配慮し、原則として初回授業にて申込受付を行っています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症への対応として、前年度に引き続き、令和4年度前期も KULASIS において先着順申込受付期間1~3 に先着順で申し込みを受け付けます。また、後期についても同様の申込方法に変更する可能性があります。



以下、(1) 履修登録までの事前申込手続き、(2) 履修登録、および(3) KULASISで履修登録を行わない集中講義について概要を説明します。

(1) 履修登録までの事前申込手続き

全学共通科目には、履修登録までに必要な事前申込手続きを経なければ登録できない科目があります。**事前申込には、①予備登録と②先着順申込があります。**履修を希望する科目で事前申込手続きが必要かどうか十分に確認してください。なお、これらの事前の手続きだけでは履修登録は終わっていません。履修登録期間、履修登録確認・修正期間に必ず**[確定]**ボタンを押し、登録を確定しなければなりません。

なお、本項で下記のとおり指示する事前申込とは別の方法(ガイダンスへの出席、学部教務掛窓口での申込等)で事前申込を受け付ける科目があります。履修を希望する科目の申込方法を本手引きや掲示でよく確認の上、必要な事前申込手続きを行ってください。

①予備登録

以下の科目を履修登録するためには、予備登録が必要です。予備登録は、指定した期間に申し込みを受け付け、締め切り後、申込者数が定員を超過した科目では抽選を行い、履修者を決定します。申込者数が定員を超過しなかった科目では、申込者全員の履修を許可した上で、残った定員について次頁「②先着順申込」に示す要領で申し込みを受け付けます。

予備登録は授業開始前に行われますので申込期間に注意してください。

▶外国語等

1) 「全・英」の表示があるE1・E3科目の予備登録期間1：p.68～参照

前期：学部2回生

後期：学部2回生(学部1回生：令和4年度後期の新設科目「アクティブリスニング(全・英)-E3」の予備登録につ

いては後日掲示により別途お知らせします別途掲示していますので確認してください。)

※申し込みはアンケートシステムで受け付けます。

※予備登録期間1で定員を充足しなかったクラスは、次の2)の予備登録期間2に申し込みを受け付けます。

2) 外国語 (英語単位未修得者クラス、初修外国語 (ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語) 初級新規履修者・再履修クラス・中級等) 予備登録、および「全・英」の表示があるE1・E3科目の予備登録期間2 : p.53～、p.68～参照

前期 : 2回生以上の学部生が対象

後期 : 2回生以上の学部生に加え、外国語の単位未修得者クラス・再履修クラスを履修する学部1回生も対象 (令和4年度後期の新設科目「アクティブリスニング (全・英) -E3」の予備登録については後日掲示により別途お知らせします別途掲示していますので確認してください。)

※申し込みは KULASIS の外国語予備登録ページで受け付けます。

※ただし、スペイン語再履修クラス、スペイン語初級新規履修は別途申込を受け付けます。

3) 日本語 : p.67 および国際高等教育院ウェブサイト「日本語授業の履修」ページ (<https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/introduction/education-center-for-japanese/japanese-language-classes/>) 参照

※日本語の履修が認められるのは、外国人留学生のみです。

※日本語を履修するためには、日本語授業登録ページで所定の手続きを行うこととプレースメントテストの受験が必要です。手続きの詳細や日程は上記ウェブサイト、KULASIS のお知らせおよび所属学部・研究科等の教務担当掛を通じて配付される「日本語科目履修 (受講) 登録の手引き」を確認してください。

▶ ILAS セミナーおよび ILAS Seminar-E2 : p.82～参照

- ◇ 申し込みは、前期は入学予定者サイトで受け付けます (学部1回生のみ対象)。後期は KULASIS の ILAS Seminar ページで受け付けます (すべての学部生・大学院生が対象)。
- ◇ 前期は学部1回生の履修を優先するため、学部2回生以上の予備登録はありません。学部2回生以上は下記「②先着順申込」に従い、申し込みをしてください。
- ◇ ILAS セミナー (海外) については、別途説明会を行い、申込期間を設けます。

▶ 履修 (人数) 制限科目 : p.73～参照

- ◇ 前期・後期ともに、すべての学部生・大学院生が対象
- ◇ 申し込みは、KULASIS の履修 (人数) 制限ページで受け付けます。予備登録は2回実施します (予備登録期間1・2)。
- ◇ 履修 (人数) 制限科目には、スポーツ実習科目も含まれます。スポーツ実習科目の履修を希望する場合は、この予備登録で希望クラスに申し込んでください。 (p.75 参照)

▶ 大学コンソーシアム京都単位互換科目 : p.85 参照

- ◇ 履修することができる科目や出願方法等詳細は3月下旬に KULASIS 等により周知します。
- ◇ 前期・後期・通年・集中開講の科目とも、所定の期日 (4月上旬) までに全学共通科目学生窓口で申し込んでください。KULASIS を通じての申し込みではありません。なお、追加募集がある場合は9月上旬に KULASIS 等により周知します。
- ◇ 公益財団法人大学コンソーシアム京都を通じて履修手続きを行うため、下記「②先着順申込」は受け付けません。

②先着順申込

▶ 先着順申込受付期間1～3

上記「①予備登録」で、申込者数が定員を超過しなかった科目では、申込者全員の履修を許可した上で、空き定員について、先着順申込受付期間1から先着順で申し込みを受け付けます。

また、申込者数が定員を超過した科目についても、履修を許可された学生が当該科目を KULASIS の履修登録候補科目設定画面から削除したことで、定員に空きが生じた場合には、空いた定員への申し込みを、キャンセルが生じた期間の次の先着順申込受付期間 (先着順申込受付期間2または3) に受け付けます。 (即座にキャンセルが申込者数に反映されるわけではありません。)

この先着順申込は、KULASIS の履修登録ページから受け付けます。その際、各科目の履修対象や履修するにあたっての条件は、予備登録の場合と同じです。

先着順申込受付期間は、前期・後期とも、概ね、

期間 1 : 上記「①予備登録」終了後 から 授業 1 週目終了の間

期間 2 : 授業 2 週目開始 から 履修登録期間

期間 3 : 履修登録確認・修正期間

に設定されますが、具体的な開始日時・終了日時は、掲示等により必ず確認してください。

この先着順申込においては、先着順で申し込みを受け付けると同時に履修を許可 (KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示) しますが、授業開始後に申し込みを行って許可された場合において、それまでの授業を受講できなかったことや課題等を提出できなかったことなどに対する教員による配慮は原則としてありません。また、学習支援システム (PandA) 等のコースサイトへの履修データの連携が遅れる場合がありますので、注意してください。なお、許可された科目の削除は随時可能です。

次の項目にあるとおり、ILAS セミナーおよび ILAS Seminar-E2 の先着順申込については、これとは異なる期間・手続きを設けていますので、注意してください。

▶ ILAS セミナー : p.82~参照

前 期
<p>【学部 1 回生 (予備登録で許可がない学生に限る)】 授業開始前に申し込み期間を設けます。 申し込みは KULASIS の ILAS セミナーページで受け付けます。</p> <p>【学部 2 回生以上】 上記の先着順申込受付期間 1~3 に受け付けます。 申し込みは KULASIS の履修登録ページで受け付けます。</p>

※学部 1 回生と学部 2 回生以上とで申し込み期間、申込方法が異なりますので注意してください。

※ILAS セミナーは後期には開講されません。

▶ ILAS Seminar-E2 : p.82~参照

前 期	後 期
<p>【学部 1 回生 (予備登録で許可がない学生に限る)】 授業開始前に申し込み期間を設けます。 申し込みは KULASIS の ILAS セミナーページで受け付けます。</p> <p>【回生を問わず】 上記の先着順申込受付期間 1~3 に受け付けます (※)。 申し込みは KULASIS の履修登録ページで受け付けます。</p>	<p>【回生を問わず】 初回授業に参加して、教員の許可を得てください。 ただし、新型コロナウイルス感染症への対応として、前期同様、KULASIS において先着順で申し込みを受け付ける方式に変更する可能性があります。</p>

※ILAS Seminar-E2 は、KULASIS の履修登録機能を利用できない特別聴講学生 (交換留学生) の履修に配慮し、原則として初回授業にて申込受付を行っています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症への対応として、前年度に引き続き、令和 4 年度前期・後期も KULASIS において先着順で申し込みを受け付けます。

(2) 履修登録

全学共通科目を履修するためには、履修登録が必要です。前期に登録する科目は、「全学共通科目授業一覧」(p.118~参照)の開講期が「前」(前期)、「前集」(前期集中)、「通」(通年)または「通集」(通年集中)の科目です。後期に登録する科目は、開講期が「後」(後期)または「後集」(後期集中)の科目です。クラス指定科目の時間割は、「IV. 全学共通科目授業時間割」(p.162~参照)の「クラス別時間割 (学部 1 回生)」で確認してください。

全学共通科目の履修登録は、一部の集中講義を除き KULASIS で行います。前期および後期の履修登録期間に KULASIS で履修登録を行い、履修登録確認・修正期間に、登録されていることを必ず確認してください。事前申込を行った科目を含め、必ず履修登録期間、履修登録確認・修正期間に [確定] ボタンを押してください。KULASIS で履修登録を行わない集中講義については、掲示等で周知する指示に従い、申し込みを行ってください。

①時間割作成期間

- ◇ 前期は4月初週に、後期は9月下旬に、KULASIS の履修登録ページがオープンし、時間割作成期間が始まります。履修登録候補科目設定画面に履修を希望する科目を設定し、時間割を作成してください。なお、時間割の作成だけでは登録は終わっていません。以下の「②履修登録期間」、さらに必要な場合には以下の「③履修登録確認・修正期間」にも、必ず[確定]ボタンを押し、履修登録を確定してください。
- ◇ 事前申込により履修が許可された科目は、KULASIS の履修登録候補科目設定画面に随時表示されます。
- ◇ 外国語科目群日本語科目（初級・中級・上級）に申し込んだ場合は、「②履修登録期間」までに履修登録確定科目として KULASIS の履修登録候補科目設定画面に表示されます。

②履修登録期間

- ◇ 集中講義以外の全ての履修希望科目を登録のうえ、[確定]ボタンを押してください。ただし、集中講義のうち、ILAS セミナー（学部1回生が前期集中科目に申し込む場合のみ）、外国語科目群（スペイン語 IA・IB（会話）は除く）、キャリア形成科目群国際コミュニケーション分野、大学院共通科目群（知的財産、アントレプレナーシップ入門、および大学院生のための英語プレゼンテーションは除く）ならびに大学院横断教育科目群は、この期間に履修登録が必要です。
- ◇ この期間に[確定]ボタンを押し履修登録を確定した後で修正が必要となった場合、確定を解除しますので、この期間最終日の18:45までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。確定が解除された後、必要な修正を行い、必ずこの期間内に、再度[確定]ボタンを押してください。なお、下記「③履修登録確認・修正期間」にも、随時、履修登録候補科目の追加・削除が可能です。
- ◇ この時点では、登録不備科目はエラー表示されませんので、「③履修登録確認・修正期間」に必ず確認してください。

《履修登録に関する注意事項》

◆履修登録科目数についての制限（学部生のみ）

すべての学部で学部毎に開講期に履修登録できる科目数（単位数・コマ数）の上限が設定されています。制限の詳細は、「V. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」（p.174～）を参照してください。

◆配当回生についての制限

授業科目で指定されている対象回生が上級回生である科目は、原則として履修することができません。大学院共通科目群および大学院横断教育科目群の科目は、学部生の履修を許可しません。

▶ 例外

- ① 自然科学科目群、情報学科目群および健康・スポーツ科目群の科目は、上級回生に配当されている科目であっても履修することが可能です。
- ② 人文・社会科学科目群の科目（E1 科目は除く）、外国語科目群の科目（初修外国語初級免除（p.53）が認められた学生に限る）については、担当教員の了承をもって上級回生配当科目の履修を許可します。初回授業時に、特別履修のための所定の用紙（全学共通科目学生窓口で配付します）に担当教員より了承の署名を得てください。特別履修の届出の全学共通科目学生窓口への提出期限は、前期・後期ともそれぞれ履修登録期間の最終日の13:00です。事情により提出が締め切りに間に合わない場合は、事前に全学共通科目学生窓口へ申し出てください。

◆科目・授業の複数履修についての制限

同じ科目名、授業名のものは、同一開講期に複数登録できません。

同一と判定される異なる科目名、授業名のものは同一開講期に登録することができますが、複数合格した場合でも卒業に必要な単位として認められるのは1つだけです。

同一と判定される複数の科目、授業については、これらを異なる開講期に履修することはできますが、その場合、

修得した単位の修得年度・修得期の早いもの1つのみが卒業に必要な単位として認められます。

科目および授業の同一判定は、次の基準により行います。

▶ 科目の同一判定

- ① 同じ科目名である複数の科目は、同一科目とみなされます。
- ② 「III. 2. 全学共通科目一覧」(p.99～)において、備考欄に同一科目と記載されている科目があれば当該科目と同一科目とみなされます。
- ③ 以前に開講された科目が、科目名変更された場合も、名称変更後のその科目と同一科目とみなされます。

▶ 授業の同一判定

- ① 同じ授業名である複数の授業は、同一授業とみなされます。
- ② 「統合科学」や「スポーツ実習」等、複数の副題や種目が開講される科目において、副題・種目が異なる場合は同一授業とみなされます(講義コードの上位4桁が同じ)。
- ③ 工学部地球工学科国際コース向けの授業等、日本語と同一の内容が英語の授業として開講される場合は、同一授業とみなされます。

▶ 例外

- ① 外国語科目群には、同じ科目名であっても同一開講期・異なる開講期どちらにおいても、複数履修が可能な科目があります(「5. 外国語の履修について」(p.53～)参照)。
- ② イタリア語 IA (4H コース) はイタリア語 IA (文法)、イタリア語 IA (演習) の各々と、イタリア語 IB (4H コース) はイタリア語 IB (文法)、イタリア語 IB (演習) の各々と同一科目として判定しますが、同一開講期に同一科目判定される科目の単位を修得した場合は、あるいはどの科目の修得年度・修得期が早いにかかわらず、4H コースの単位を卒業に必要な単位として認定します。
- ③ 「III. 2. 全学共通科目一覧」(p.99～)で「英語授業の有無」欄に丸印のある科目は、「III. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.118～)でE科目に指定されているものとは同一授業とみなされません。日本語授業と英語授業(E科目)の両方を履修し、単位を修得したときは、原則として両方とも卒業に必要な単位として認められます。ただし、所属学部によって扱いが異なる場合があります。
- ④ 「外国文献研究(全・英)-E1」は、同じ科目名で副題が異なる授業が複数開講されますが、同一開講期・異なる開講期どちらにおいても複数履修が可能です。ただし、同一教員が授業担当責任者(「III. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.118～)参照)である授業を複数履修した場合は同一授業とみなされ、修得した単位の修得年度・修得期の早いもの1つのみが卒業に必要な単位として認められます(「6. E科目(英語関連科目)の履修について」(p.68～)参照)。なお、学部2回生は、原則として、各開講期1科目を履修の上限とします。
- ⑤ 「外国文献研究(経・英)A・B-E1」は、同じ科目名であっても、異なる開講期において複数履修が可能です。同一科目かつ同一教員が担当する授業の複数履修はできません。また、4単位を超えて履修することはできません。
- ⑥ 少人数教育科目群の科目は、同じ科目名で副題が異なる授業が複数開講されますが、担当教員にかかわらず、同一開講期・異なる開講期どちらにおいても複数履修することが可能です。ただし、学部1回生が履修できるILASセミナーは1科目のみです(「11. ILASセミナー等の履修について」(p.82～)参照)。

◆ クラス指定科目

クラス指定科目とは、所属学部で指定・推奨をしている授業科目や、履修者数を調整するためにあらかじめ授業クラス別の授業時間割が組まれている授業科目をいいます。

クラス指定科目を全て履修するかどうかは各自の選択によりますが、当該科目を履修する際には、原則として自クラスで履修しなければなりません。よって、学部1回生が全学共通科目の自由選択科目または必修ではない学部科目を履修するために、自クラスの指定科目を他クラスに変更することは原則としてできません。

▶ 例外

学部1回生が自クラスに配当されていないクラス指定科目の履修を希望する場合、担当教員の了承をもって、他クラスに指定されている当該科目の履修を許可します。初回授業時に特別履修のための所定の用紙(全学共通科目学生窓口で配付します)に、担当教員より了承の署名を得てください。特別履修の届出の全学共通科目学生窓口への提出期限は、前期・後期ともそれぞれ履修登録期間の最終日の13:00です。事情により提出が締め切りに間に合わない場合は、事前に全学共通科目学生窓口へ申し出てください。

なお、自由選択科目を兼ねるクラス指定科目を履修する場合、および学部2回生以上が他クラス指定科目を履修

する場合は、特別履修手続きによらず履修登録することができます。ただし、履修制限や人数制限が実施されることがあるので注意してください。

◆全学共通科目と学部・大学院科目の二重登録の制限

全学共通科目と学部・大学院科目を同一曜時に重複して履修登録すること（二重登録）は原則できません。

◆通年科目の履修登録

通年科目の履修登録は前期に確定するため、後期に通年科目の履修登録の変更および取消はできません。前期に通年科目の履修登録を行う際には、後期の履修科目についても考慮しておいてください。

③履修登録確認・修正期間

- ◇ この期間に KULASIS にアクセスし、集中講義以外の自分が登録した全ての履修希望科目の曜日、時限、教員名等を十分に確認のうえ、[確定]ボタンを押してください。ただし、集中講義のうち、ILAS セミナー（学部 1 回生が前期集中科目に申し込む場合のみ）、外国語科目群（スペイン語 IA・IB（会話）は除く）、キャリア形成科目群国際コミュニケーション分野、大学院共通科目群（知的財産、アントレプレナーシップ入門、および大学院生のための英語プレゼンテーションは除く）ならびに大学院横断教育科目群は、この期間に履修登録が必要です。
- ◇ 「②履修登録期間」の登録に不備のあった科目は、エラー科目として表示されます。エラー科目は不備を解消しなければ、再度候補科目に追加しても登録できません。エラー科目や削除・追加したい科目がある場合は、この期間に確認・修正をしてください。この期間終了後は修正することができません。なお、この期間に登録した内容にエラー科目があった場合、エラー科目を除いた状態で、履修登録が決定します。
- ◇ 「②履修登録期間」に登録を確定し、エラー科目がない場合でも、先着順申込受付期間 3 に先着順で申し込みをした科目を履修するには、この期間にも[確定]ボタンを押し、登録を確定する必要があります。
- ◇ 例年、登録確認を怠り、登録されていないことに気付かず授業に出席し、試験を受ける学生がいますが、履修登録していない科目の単位は認定されません。
- ◇ この期間に[確定]ボタンを押し履修登録を確定した後で修正が必要となった場合には、確定を解除しますので、この期間の最終日 18:45 までに全学共通科目生窓口に出してください。確定が解除された後、必要な修正を行い、必ずこの期間内に、再度[確定]ボタンを押してください。[確定]ボタンを押さなかった場合は、「②履修登録期間」の状態（ただし、エラー科目は除く）で、履修登録が決定します。

④履修登録確定

- ◇ 確定日以降、KULASIS の My Page に履修登録された科目の時間割が表示されます。
- ◇ 履修登録期間、履修登録確認・修正期間、どちらも[確定]ボタンを押さず、登録を確定しなかった場合、原則として、当該期の全学共通科目の履修はできません。

⑤履修取消期間

- ◇ 履修を取り消したい科目がある場合は、この期間に KULASIS の履修取消ページより当該科目を選択し、[確定]ボタンを押してください。この期間の終了以降は、履修登録の取り消しは原則として認められません。この期間に履修登録の取り消しの手続きを取らなかった科目は、その科目の試験を受験しなかった、またはレポート等を提出しなかった等の場合であっても、全て成績評価の対象となります。
- ◇ 通年科目の履修取消は、前期の取消期間に手続きしてください。後期に取り消すことはできません。
- ◇ 英語および初修外国語の学部 1 回生のクラス指定の科目、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」、KULASIS で履修登録を行わない集中講義（下記（3））、ならびに履修取消期間前に授業が終了する少数教育科目群・大学院共通科目群・大学院横断教育科目群の集中講義は、履修取消を認めません。
- ◇ この期間に履修取消を確定した後で、修正が必要になった場合、確定を解除しますので、この期間の最終日の 17:15 までに全学共通科目生窓口に出してください。確定が解除された後、必要な修正を行い、必ず期限までに、再度[確定]ボタンを押し、確定してください。確定しなかった場合は、履修取消の申請がなかったものとして取り扱われます。
- ◇ この期間には履修登録の取り消しのみ可能です。登録科目の追加・修正はできません。

(3) KULASIS で履修登録を行わない集中講義

集中講義は、履修登録期間（確認・修正期間含む）の KULASIS での履修登録を行いません。掲示等で履修申込方法等の詳細を案内しますので、確認のうえ、その指示に従い、別途申し込みをしてください。実施時期等が未定の授業科目は、決定次第掲示します。

KULASIS で履修登録をしない集中講義は、原則として登録確定後の履修取消を認めません。

ただし、集中講義のうち、ILAS セミナー（学部 1 回生が前期集中の ILAS セミナーに申し込む場合のみ）、外国語科目群（スペイン語 IA・IB（会話）は除く）、キャリア形成科目群国際コミュニケーション分野、大学院共通科目群（知的財産、アントレプレナーシップ入門、および大学院生のための英語プレゼンテーションは除く）ならびに大学院横断教育科目群の集中講義は、履修登録期間（確認・修正期間含む）に KULASIS で履修登録を行います。

なお、前期 8 月中旬以降・後期 2 月中旬以降に実施される集中講義の成績は、次期の成績表に反映されます。